

市民の皆さんのため 防災業務に励みたい

市防災対策専門員

瀬川 正雄 さん

セガワ・マサオ 54歳 岡村



昭和34年生まれ。昭和53年に自衛隊に入隊。第9特科連隊や第2陸曹教育隊、岩手地方協力本部などに勤務し、10月10日定年退職。同月15日から市の防災対策専門員に着任。てんびん座のO型

「何よりも市民の皆さんのために働くことが一番大事。自衛隊に所属していたころから、その思いは変わりません」と語るのは、市初の防災対策専門員に着任した瀬川正雄さん。地域防災計画、防災訓練に関する業務や災害などの際に、警察、消防などとの連携を高める役割が期待されます。

自衛隊岩手地方協力本部に勤務していた時に東日本大震災を経験し、「国民全体の奉仕者としての意識を一層高めることになりました」と、当時を思い返します。「災害発生時は、広報班長を担当しており、報道対応など、さまざまなパイプ役を担いました。この経験を生かせればと思います」と、意欲を見せる瀬川さん。「防災のためには、非常食などの準備も必要で



高校生に自衛隊の災害派遣活動を紹介(24年11月8日)

すが、心構えと情報収集がとて大切ですよ」と、防災意識の重要性を訴えます。

今後の意気込みを伺うと、「26年度は、本市で県総合防災訓練が行われるため、逐次準備していきたいです」と答えらうえで、「一人でできることには限りがあります。組織として、同じ係、市職員、そして市民の皆さんとの協力・連携があつてこそ、できる仕事です。精一杯努力します」と、真摯な姿勢で仕事に臨むことを誓いました。



スルリと手から抜け出すニジマスに悪戦苦闘

今月の表紙 ニジマス 捕ったど〜

八幡平山賊まつりは、10月12日と14日、さくら公園で開催されました(13日は強風のため中止)【関連12号】。

晴天に恵まれた14日には、ニジマスのつかみ捕り大会が行われ、多くの子どもたちが参加。うまくつかめた子や追いかけるうちにずぶぬれになる子などの元気な姿に、声援が送られていました。

編集後記

イベント盛りだくさんの10月も終わり、肌寒い季節となりました。風邪をひかないように気を付けましょう▽10月26日未明、ふと目を覚ますと、小刻みながらも長い揺れが続く地震。後日知りましたが、東日本大震災の余震とのことでした。約2年半経ちますが、その影響はまだ続いていると感じさせられました。再度、防災について考える機会を持つ必要があるかもしれません。(佐々木)